

後期学校評価の集計結果から

12月に実施しました後期の学校評価アンケート。学校運営協議会で意見をいただくことはまだこれからですが、アンケートに記載されていたことや集計結果から分かること等紹介いたします。

また、3学期の教育活動のできることから結果を踏まえた見直しや改善等、進めていきたいと思えます。

※ 集計結果の全容については、別紙 学校評価集計結果をご覧ください。

【学校に関わること】

- ・「今後も少しでも福賀の一員として関わっていききたい」「これからも学校の行事に協力していきたい」など、嬉しい声をいただいている。「チーム福賀」の輪がさらに広がっていくとよい。
- ・子供たちのあいさつがもっとよくなるとよい。
- ・地域に根付いた学校教育を進めて欲しい。
- ・気軽に参加出来る公開授業の機会を増やして欲しい。

- ・ふるさと学習においては、特定の人や団体に偏らないよう心がけることを忘れない。
- ・太鼓の演奏力を向上するためにも、地域の指導者に声をかけるべきだった。パート決めの際にも地域の指導者の声を参考にするとよい。
- ・表現力の中身をはっきりとさせるべき。
- ・子供たちが自分で考え自分で行動できるようなしかけが必要。
- ・家庭学習の工夫が必要。

【家庭に関わること】

- ・早寝の習慣が身につけていないことが気になる。
- ・家でも読書や手伝いをするようになってほしい。
- ・外遊びをもっとするような子供になってほしい。

- ・日々の生活の中で、保護者（大人）も、積極的に挨拶する姿を子供たちに見せないと、子供たちは育たない。

【地域に関わること】

- ・子供の姿を目にする機会が少ない。
- ・「積極性と表現力をチーム福賀で」という重点取組事項が浸透しつつある。
- ・4つの心や力について3校で取り組んでいることも、前期アンケートと比較すると地域まで伝わり始めている。

- ・日々の生活の中で、大人（保護者）も、積極的に挨拶する姿を子供たちに見せないと、子供たちは育たない。
- ・地域の人との交流に偏りがあるようなのでもっと多くの人（特に長く福賀に住んでいる人）の力を借りると良い。

